

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
芸術	書道Ⅰ	1	2	書Ⅰ（光村図書）	適宜、プリントを使用

1 科目の目標と評価の観点

目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解し書写能力の向上を図り、効果的に表現する為の技能を身につける。		書美を感受し創作意図に基づき工夫し、書作品や書道文化の意味や価値を考え書美の味わいをとらえることが出来るようにする。		主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会の創造を目指す。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①書と文化 書、周辺文化の歴史の学習	1 学期 （ 2 6 ）	・書道表現と鑑賞の幅広い活動を通じ書を愛好する心情を育てる。 ・多様な書風の古典にふれることにより、表現方法を学び技術を高め創作に生かす。	・基本的な姿勢、執筆法を身に着ける。 ・用具、用材を的確に用いる。 ・国語科書写と芸術科書道関係を理解する。	・基本的な姿勢、執筆法を身に着けようと工夫している。 ・芸術としての書に関心を持ち様々な書表現を理解している。	・国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校における書道の学習の意義に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。
②漢字の書 1 楷書古典臨書			・楷書の特徴を理解し表現することができる。。 ・各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる	・古典に基づづく学習の意義や臨書・創作の関係を理解している。 ・様々な楷書を鑑賞し書風の違いを理解し表現方法を理解している。	・古典に基づづく学習の意義や臨書・創作の関係を理解しようとしている。 ・唐時代を代表する楷書古典について意欲的に理解しようとしている。
②漢字の書 2 行書古典臨書			・行書の特徴を理解し表現することができる。 ・各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる	・字形や用筆の特徴を理解し表現技法を理解している。 ・古典の書美と表現技法を理解している。	・多用な行書を鑑賞し書風の違いに関心を持ち理解しようとしている。 ・行書の字形や用筆の特徴に関心を持っている。
②漢字の書 3 隷書・篆書古典臨書			・隷書・篆書の特徴を理解し表現できるように、工夫している。 ・各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる	・隷書の特徴や木簡についてしり、その現代的な意義を理解している。 ・篆書の特徴をつかみ、歴史的意義を理解している。	・隷書・篆書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・古典の書美と書道技法に関心を持ち意欲的に身に着けようとしている。
②漢字の書 4 創作			・古典に学び用具・用材の特性を生かして様々な表現を試みる事ができる。	・古典に基づづく表現と個性的な表現を理解している。	・漢字の書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
定期考査	0				
②漢字の書 5 篆刻	2 学期 （ 2 6 ）	・書に親しむ活動を通じ、感性を高め書道の基礎的な能力を伸ばす。 ・身近にある題材を素材とし線質や構成を工夫し名筆に基づいた表現をする。	・篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻すことができる。 ・落款と落款印の意味とその役割について理解している。	・篆書の特徴を生かして草稿、印稿、運刀ができるように工夫している。 ・篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻すことができる。	・篆刻に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ・落款と落款印の意味とその役割について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。
③漢字かな交じりの書 1 鑑賞			・名筆が書かれた背景や作者について理解しその作品や創造的に鑑賞している。	・書道学習で身に着けた事を鑑賞に生かし、暮らしの中に書を生かす工夫をしている。	・名筆が書かれた背景や作者について理解しその作品を理解しようとしている。 ・漢字仮名交じりの書の名品の美しさや良さを理解しようとしている。
③漢字かな交じりの書 2 古典学習、構成			・漢字かな交じりの書の創作の準備と手順を理解している。	・自分の中にある作品イメージに表現を近づけ、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫して表現することが出来る。	・暮らしの中に書を生かそうとしたり暮らしに生きる書に関心を持とうとしている。
③漢字かな交じりの書 3 漢字かな交じりの書の創作及び実用書			・書道学習で身に着けた事が、暮らしの中に生かされることを理解している。 ・書が思いを伝えることを理解している。	・古典に学び漢字と仮名の書風や用筆を調和させて書く事が出来る。 ・用具、用材の特徴を生かし様々な表現を試みる事が出来る。	・古典に学び漢字と仮名の書風や用筆を調和させて書こうとしている。
定期考査	0				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
④仮名の書 1、古典臨書	3 学 期 (1 8)	・書への関心を高め書の伝統文化への理解を深める。 ・仮名の技法を習得し、それらが日本の伝統に立脚していることを理解する。	・仮名の基本用筆において、用紙へのあたりや回転のリズムに注意しながら書く事が出来る。 ・仮名古典特徴を生かして書く事が出来る。	・流麗な線筆による連綿の美しさと仮名の書独特の表現法である散らし書きなどの技法を身に着けている。	・古筆を鑑賞し、その美しさを感じようとしている。 ・行書き、散らし書きの古筆に関心を持ち、その良さを感じようとしている。
④仮名の書 2、仮名創作。			・仮名の書の創作手順を踏み、自分らしい表現をすることが出来る。 ・平安朝の仮名古筆を参考に行の長短や高低、行間、紙面構成を表現することが出来る。	・仮名の書の創作の準備と手順を理解し表現することが出来る。 ・仮名の書の創作の表現の構想から完成に向けて意欲的に取り組んでいる。	・仮名の書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
⑤暮らしの中の書			・身近な暮らしの中の書の実用形式を踏まえ、適切に書く事が出来る。	・身近な暮らしの中の書の実用形式を踏まえ、適切に書くようにしている。	・身近な暮らしの中の書に関心を持ち、理解しようとしている。
定期考査	0				